

議員提出第10号

「市民改革クラブ3月議会活動報告」で虚偽記載があったことに関し、市民改革クラブに反省を求める決議

吉川市議会会議規則第13条の規定により、上記決議書を別紙のとおり提出する。

平成26年6月16日

提出者 吉川市議会議員 中嶋 通治

賛成者 吉川市議会議員 小野 潔

〃 加藤 克明

吉川市議会議長 松崎 誠 様

提案理由 口頭

「市民改革クラブ3月議会活動報告」で虚偽記載があったことに関し、市民改革クラブに反省を求める決議

平成26年3月定例会は3月20日に閉会。各会派は議会報告として市民にその内容をお伝えしているが、それは事実が無ければなりません。しかし、平成26年4月9日発行の「市民改革クラブ3月議会活動報告」では事実でない記載がありました。

その1は本会議場での発言は次の通りであります。

『18番稲垣茂行です。お詫びを申し上げます。本定例会期間中、女性職員の肩に「セクハラ、セクハラ」と言いながら手を触れ、相手に不快感を抱かせる結果を招きました。軽率な行為であり、ご本人をはじめ、その場に居合わせた職員の皆様にも不快の念を感じさせたことはわたくしの不徳の致すところで認識の甘さを深く反省いたします。』

ご本人をはじめ職員のみなさまに対し、お詫び申し上げます。また、議員各位に対しましても、ご迷惑、ご心配をおかけし誠に申し訳ございません。今回のことは議会開会中、衆人監視の会議室のことであり、ご指摘をいただいた事態を厳しく受け止め今後言動には十分注意してまいります。重ねてお詫びを申し上げます。』

しかし、市民改革クラブが発行した3月議会活動報告によると本会議最終日、『議場でお詫びしましたと題して3月11日、委員会の休憩中、女性職員の肩に「セクハラ」と言いながら気軽に手を触れ、相手に不快感を抱かせる結果を招きました。』

悪意がないとはいえ軽率で誤解を招く行為であり、ご本人をはじめその場に居合わせた職員の皆様にも不快の念を感じさせたことは、私の不徳の致すところで認識の甘さを深く反省いたします。ご本人をはじめ職員のみなさまに対しお詫び申し上げます。

また、市民の皆様をはじめ議員各位に対しましても、ご迷惑、ご心配をおかけし誠に申し訳ございません。

今回のことは、議会開会中、衆人環視の会議室でのことであり、ご指摘を頂いた事態を厳しく受け止め、今後言動には十分注意してまいります。』と記載されています。相違点は「セクハラ」「気軽に手を触れ」「悪意がないとはいえ」を付け加えたり、また削除されています。これは自分の立場を少しでも正当化しようとしたものであり、本会議場で発言した事実と異なっています。

その2は編集後記の中で『脇が甘い』。いくら白昼、衆人環視の下、たとえ冗談とはとはいえ「セクハラ」と言って、知り合いの女性職員の肩に触れたのは軽率な行為だ。日頃から、狙われているのが分かっている。『絶対にお詫びを

しない方が良い。すれば必ず利用される』『逆に、名誉毀損で訴えた方が良い』との忠告も。『脇が甘い』は主に男性。『お詫びするな。訴えるべき』は主に、周囲の女性達から私に寄せられた。最終的に私は議会でお詫びをした。それは女性職員の肩に触れたこと、その事に対しまわりの職員や本人が不快に感じた。ということなので。親愛の情で『久しぶり。元気でやっている』との意味で肩に触れたとしても、相手がどう感じ、受け止めるかということが大切な事だからです。深く反省すべき事だと思います。その上で、言いたい。それにしても事実の確認や検証もせず、お詫びをさせるやり方は良くない。周りの職員から申し出があったというが、議会として誰一人その話を聞いていない。また議会として、本人に事情聴取も行っていない。聞いたのは議会事務局局長だという。私に対しては、議長と、副議長より、事実だけを聞きたいと聴取があった。その後、代表者会議を経て全員協議会へ。弁明の機会も与えられず、「一方的な事実」で議論が進められ、およそ世間の常識からかけ離れた意見で、厳罰にすべき（勿論反対意見も）との方向へ。うまく行けば辞任。最低でも、一般質問の取り下げ、と考えたのかも知れませんが・・・・・・と書いて有りますが、弁明の機会も与えられず『一方的な』事実で議論が進められ、およそ世間の常識からかけ離れた意見で、厳罰にすべき（勿論反対意見も）との方向へ。うまく行けば辞任。最低でも、一般質問の取り下げ、と考えたのかも知れませんが、と言う表現にも問題が有ります。正副議長、会派代表者会議を開き、事実確認を行い、本人が納得の上、本会議で謝罪したものであり、弁明の機会もなく、のくだけはまったく事実と反しており、しかも一般質問の取り下げを考えたのか知れませんが、の部分には現実には稲垣議員は3月18日に一般質問を行なっていますのでこの表現も事実では有りません。

市民から選ばれた私達市議会議員として、非常に恥ずかしい事であり、議会の品位を低下させたのみならず、市民に対してもきわめて無責任な事でありませぬ。

よって、市民改革クラブに対し記事の訂正と反省を求めます。

平成26年6月16日